

AEM 学会誌への投稿のてびき

(2021年9月1日 改訂)

1. 投稿者の資格

日本 AEM 学会誌に学術論文、技術論文、研究ノート、解説記事を投稿する者は、本会会員であることを原則とする。

2. 投稿の種類

(1) 学術論文

学術論文とは、既存の研究分野にとらわれず、広く電磁現象及び関連のダイナミクスに関する応用分野における研究のオリジナルな成果であって、一般に公表されている刊行物などに未投稿のものに限る。

(2) 技術論文

技術論文とは、学術論文と同じ分野における、装置の試作・製品化、実験解析手法の改良等でオリジナルな成果であり、一般に公表されている刊行物などに未投稿のものに限る。

(3) 研究ノート

研究ノートとは、速報性を優先させた成果報告であり、論文としての完結性は問わない。

(4) 解説記事

解説記事とは、他分野の人にも参考になるものでオリジナルな成果を問わない。

3. 投稿の受付と採否

原稿が本会事務局で受領された日を受領年月日とする。執筆要項を大幅に逸脱した原稿は事務的に返却する。

投稿の採否は論文委員会で決定する。学術論文は、論文委員会が校閲委員2名を指名する。校閲の結果により学術論文の修正依頼をすることがある。採否を決定したときはその旨著者に通知する。技術論文は、これに準ずる。研究ノートは速報性を重視することから、校閲委員は1名とする。各巻の1~4号は、通常それぞれ3, 6, 9, 12月に発行される。

投稿は原則として、査読システムを用いて行うこと。原稿の形式は Word(.doc)形式または Acrobat(.pdf)形式とする。投稿論文の掲載が決定した場合、最終原稿の提出は Word(.doc)形式とする。執筆要項兼執筆サンプル(.doc)が用意されているので、参照されたい。また、論文投稿票は、Word(.doc)形式と Acrobat(.pdf)形式を用

意してあるので、いずれかを利用されたい。また、MAGDA などの大会特集号以外への一般論文投稿の際には、下記のサイトにある「一般論文の投稿の手引き(査読システム)」も参照すること。

※執筆要項兼執筆サンプル、投稿票、査読システムによる投稿方法の入手先：<http://www.jsaem.gr.jp/jjaem.html>

4. 投稿料・別刷料

学術論文、技術論文、研究ノート、依頼によらない解説記事など(以下、投稿論文等)の著者は、投稿料を支払わなければならない。投稿料は1ページにつき15,000円とする。ただし、筆頭著者が会員の場合、投稿料は1ページにつき8,000円とする。この規程は、投稿の段階での入会者にも適用する。掲載学会誌発行時に、投稿論文等を pdf 形式で筆頭著者へ提供する。別刷を希望する場合は、50部ごとに非会員7,500円/ページ、会員4,000円/ページを別途支払う。写真や図をカラー印刷としたい場合は、別途料金を請求する。

なお、国際会議特集号については当該会議の定めによる。

5. 著作権

日本 AEM 学会誌に掲載された論文または記事の著作権は、日本 AEM 学会に帰属する。同一内容の論文等を他の公開出版物に投稿しないこと。また、他の著作物からの引用にあたっては、著作権上の問題が生じないように十分に注意を払うこと。

投稿論文の掲載が決定し次第、著者は所定の著作権譲渡書を記入して事務局に送付しなければならない。

投稿先：<https://reg-cloud.com/jsaem/Entry/Login.aspx>

お問い合わせ先：

日本 AEM 学会論文委員会

E-mail: paper@jsaem.gr.jp

以上

【参考】論文の専門分野(査読システム用)

1-1	核融合, MHD, 電磁加速器スワッチ装置(量子ビーム加速器)
1-2	超電導とその応用
1-3	電磁アクチュエータ, 電磁ポンプ, 電磁マイクロマシン, MEMS
1-4	磁気浮上, リニアモータ, 磁気軸受, 電磁歯車
1-5	MRI, 渦電流探傷, 電磁超音波探傷, センサ
1-6	インダクタ・トランス, 誘導加熱, ワイヤレス電力伝送(WPT)
1-7	電磁生体診断, 材料劣化診断, 電磁断層撮影
1-8	逆問題解析のための先端ハードウェア技術(マイクロセンサ, SQUID)
1-9	圧電アクチュエータ, 電歪アクチュエータ, 磁歪アクチュエータとその応用
1-10	形状記憶合金アクチュエータとその応用
1-11	磁性流体, 磁気粘性流体とその応用
1-12	電気粘性流体とその応用